第51回　水戸市高齢者作品展

期　日：平成26年8月2～7日
場　所：茨城県総合福祉会館ギャラリー
出展数：124点
来場者数：延べ562人

先生や仲間の皆さんの温かいご指導にあずかり、長い期間木目込み講座へ仲間入りさせていただいております。

下手の横好きとか申しますが、手先の細かい仕事が好きで、続けております。

展示会では、皆さんの立派な作品にただただ驚くばかりです。

谷仲とみ子（101歳）

平成26年度 水戸市高齢者クラブ連合会の活動
健康・生きがいづくり 社会貢献活動

第25回 水戸市高齢者クラブスポーツ大会

期　日：平成26年10月7日
会　場：水戸市総合運動公園　軟式球場
参加者

ゲートボールの部	12チーム	70人
輪投げの部	50チーム	246人
ペタンクの部	18チーム	67人
グラウンドゴルフの部	52クラブ	314人

大会こぼれ話

スポーツ委員の大切な仕事の一つに会場準備があります。今年は台風が水戸を直撃した直後、午後3時ごろから設営等を開始せざるをえませんでした。

台風の影響であちらこちらに大きな水たまりや地面が荒れた箇所がありました。

準備担当のスポーツ委員は一人の欠席者もなく、ぞうきん、バケツ、スポンジ、ほうき等を手に水を掬いだす作業から取り掛かりました。

こんな努力があって、選手の皆さんが楽しみにしている大会が開催されたのです。

第41回　水戸市高齢者クラブ芸能発表大会

平成26年6月30日、県民文化センター小ホールで、28チーム、285人が鮮やかな舞台照明の中、民舞、新舞踊、民謡、健康体操、合唱、舞踊、吟詠、歌唱およびフラダンス等を熱演した。

今年は、歌謡ショー風の童謡吟詠や指揮者付きの2部合唱もあり、楽しさを十分堪能できた。また、観客席からは出演者に惜しみない声援がおくられた。最後は出演者、応援者等500人強全員で「上を向いて歩こう」を合唱して散会となった。

こんな広報紙をつくっています　第4回

双葉台（松）高齢者クラブ
会長　佐々木　国雄

●発行責任者　佐々木　国雄
●発行の動機
平成7年から前会長が発行していたが3号で休刊していたものを平成12年より再開し現在59号（10月現在：B4版、6ページ）に至る。
編集委員会を組織し、クラブの活動と会員の投稿を中心に構成し、会員に広く興味をもってもらえる内容づくりを心掛けている。
●発行回数　年4回
●配布先　全会員
●課　題　投稿者が限られてしまうこと。沢山の方の投稿をお待ちしています。

競技成績

ゲートボール競技の部
優　勝　松が丘高齢者クラブ
準優勝　飯富第二高砂会
第3位　浜田松一クラブ
敢闘賞　千波むつみ会

輪投げ競技の部
優　勝　開江長寿会（双葉台）
準優勝　寿クラブB
第3位　成沢高砂会（飯富）
敢闘賞　見川地区高齢者ク連合会

ペタンク競技の部
優　勝　郷町寿クラブA（渡里）
準優勝　郷町寿クラブC（渡里）
第3位　郷町寿クラブB（渡里）
敢闘賞　三の丸地区高齢者ク連合会A

グラウンドゴルフ競技の部（個人）

優勝	高岡　康（上中妻）	第6位	齊藤良明（吉田）
準優勝	鈴木　馨（渡里）	第7位	増渕和男（稲荷1）
第3位	鈴木昭子（笠原）	第8位	萩野谷良一（上大野）
第4位	山崎　保（上中妻）	第9位	飯村重好（寿）
第5位	石橋正義（上大野）	第10位	永田明彦（吉田）

第23回　水戸市高齢者交通安全推進委員研修会

平成26年9月26日に県総合福祉会館で実施。この研修会は高齢者自身の安全意識の高揚と交通安全活動の安全性を高めることを目的として開催。

今年度は交通安全推進委員および女性委員約250人が参加して開催された。

新任推進委員51人の委嘱状交付を行った後、高齢者の交通事故防止のポイントやニセ電話詐欺防止対策等について研修した。

高齢者の車の運転に伴う事故が多発しているので、ルールを守り安全運転に心がけたい。

◆キラリ◆　輝け　こども見守り隊
渋井町高齢者クラブ　酒出　卓治

通学路の立哨は、当初、子ども会育成会が実施していたが、平成16年の高齢者クラブ設立を機に、当クラブが担当し、今日に至っている。

通学路には、道路幅が狭い両側通行路や信号を避けて抜け道として利用する通勤用自動車が多く、朝の通学路としては危険な区間がある。

この区間に数名の会員が立哨し、児童の安全な通学を見守っている。

平成24年度には、「反射材着用推進リーダー」の研修会で「キラリリーダー」の委嘱を受けた。写真のようにベスト、帽子を着用することで、周囲への周知度も高まっている。

また、毎年、水戸市交通安全推進協議会より「交通安全推進委員」の委嘱を受け、研修会に参加することで会員の意識向上に役立てている。

わたしたちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています